

(令和6年度入学生適用)

## 看護福祉学部<全学教育科目>カリキュラム・ツリー

### <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

### <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育理念とする。

### <看護福祉学部看護学科のディプロマ・ポリシー (DP)>

本学看護福祉学部看護学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2: 看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

### <看護福祉学部福祉マネジメント学科のディプロマ・ポリシー (DP)>

本学看護福祉学部福祉マネジメント学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1: 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2: 福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3: 社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4: 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5: 多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

1年次	2年次	3年次	4年次	
人間と思想(生命倫理学入門) [4]				DP1
基礎ゼミナール(アカデミック・リテラシー入門)				
情報科学(情報科学) [3]				DP2
情報処理演習(情報処理演習) [3]				
物理学(基礎物理学) 化学(基礎化学) [3]				
生物学(基礎生物学) [1] 法学(法学概論) [1]				
法学(日本国憲法) [1] 心理学(心理学)				
人間と社会(現代社会論入門) [4]	経済学(医療福祉経済学) [5]			DP3
統計学(基礎統計学) [2]	人類学(医療人類学) [5]			
社会学(社会学) [4]				
健康・運動科学(運動科学論) [1②]				DP4
健康・運動科学演習(運動科学演習) [1②]		多職種連携(多職種連携論) [2]	多職種連携(全学連携地域包括ケア実践演習) [1②③]	
多職種連携(多職種連携入門) [1]				
人間と思想(科学の哲学)	英語 I (英語コミュニケーションA) [4]			DP5
人間と文化(国際文化比較論) [1]	英語 I (英語コミュニケーションB) [4]			
人間と文化(日本の小説) [1④]	英語 II (英語C) [4] 英語 II (英語D) [4]			
人間と社会(国際社会福祉論)				
英語 II (英語A) [4] 英語 II (英語B) [4]				
初修外国語(初級フランス語) [4]				
初修外国語(中級フランス語) [4]				
初修外国語(初級ドイツ語) [4]				
初修外国語(中級ドイツ語) [4]				
初修外国語(初級中国語) [4]				
初修外国語(中級中国語) [4]				
初修外国語(初級韓国語) [4]				
初修外国語(中級韓国語) [4]				
人類学(文化人類学) [1]				
地域連携(地域ボランティア論) [1]				

### <ツリー表記について>

学生が科目修了時に達成できるDP1~DP5のうち、最も当てはまるDPの箇所に科目を記載し、次に当てはまるDPIについてその番号(①~⑤)を科目名の後ろに[ ]で表記している。各授業科目の配色は次の分類を示している。

- 教養教育
- 基礎教育
- 医療基盤教育

(令和6年度入学生適用)

# 看護福祉学部看護学科 カリキュラム・ツリー

## <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

## <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

## <看護福祉学部看護学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う看護専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の健康の向上に貢献することを看護福祉学部看護学科の教育理念とする。

## <看護福祉学部看護学科のディプロマ・ポリシー (DP) >

本学看護福祉学部看護学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1：人間の生命および個人の尊厳を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

1年次	2年次	3年次	4年次	
看護学原論 人間発達論 臨床心理学 医療概論 人々の暮らしを理解する実習	ヘルスプロモーション論	看護倫理		DP1
人体構造機能学Ⅰ 人体構造機能学Ⅱ 人体構造機能学Ⅲ 人体構造機能学Ⅳ 微生物学 病理学 看護技術論 看護技術基礎演習 成人看護学	人体構造機能学演習 生化学 薬理学 病態・疾患学 栄養学 成人病態と臨床実践Ⅰ 成人病態と臨床実践Ⅱ〔4〕 成人病態と臨床実践Ⅲ〔4〕 老年病態と看護 小児病態と看護〔1〕 母性病態と看護 精神病態と看護〔4〕 看護技術各論Ⅰ 看護技術各論Ⅱ 看護技術演習Ⅰ 看護技術演習Ⅱ 在宅看護学各論 在宅看護学演習Ⅰ セルフマネジメント支援論 小児看護学〔1〕 母性看護学 精神看護学〔1③〕 看護実践基盤実習	クリティカルケア論〔4〕 成人看護学演習Ⅰ 成人看護学演習Ⅱ 老年看護学演習〔1③〕 小児看護学演習〔1③〕 母性看護学演習 精神看護学演習〔1③〕	セーフティマネジメント論 皮膚・排泄ケア	DP2
看護福祉学入門 キャリア開発論Ⅰ	がん看護学 老年看護学〔1④〕 キャリア開発論Ⅱ	看護実践統合演習 健康回復支援実習Ⅰ 健康生活支援実習(老年期)〔2④〕 健康生活支援実習(こどもと家族)〔2④〕 健康生活支援実習(母子と家族) 健康生活支援実習(精神)〔2④〕 卒業研究Ⅰ〔5〕	看護管理論〔1④〕 卒業研究Ⅱ〔5〕 健康回復支援実習Ⅱ〔1④〕 看護総合講義	DP3
社会福祉概論	リハビリテーション法 保健医療福祉制度と看護	在宅看護学演習Ⅱ	人々の暮らしを支援する実習〔5〕 地域包括ケア実習〔5〕	DP4
福祉と当事者のリアルⅠ 家族看護学〔2〕	公衆衛生学Ⅰ 地域在宅看護学		多文化看護論 公衆衛生学Ⅱ	DP5

## <ツリー表記について>

学生が科目修了時に達成できるDP1～DP5のうち、最も当てはまるDPの箇所に科目を記載し、次に当てはまるDPIについてその番号〔①～⑤〕を科目名の後ろに〔〕で表記している。各授業科目の配色は次の分類を示している。

- 領域Ⅰ
- 領域Ⅱ
- 領域Ⅲ
- 領域Ⅳ
- 自由選択

(令和6年度入学生適用)

# 看護福祉学部福祉マネジメント学科 カリキュラム・ツリー

## <建学の理念>

知育・徳育・体育 三位一体による医療人としての全人格の完成

## <本学の教育理念>

生命の尊重と個人の尊厳を基本として、保健と医療と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、確かな知識・技術と幅広く深い教養を身につけた人間性豊かな専門職業人を養成することによって、地域社会ならびに国際社会に貢献することを本学の教育理念とする。

## <看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育理念>

本学の教育理念を基本として、看護と福祉の連携・統合をめざす創造的な教育を推進し、総合的なヒューマンケアを担う福祉専門職業人を養成することにより、地域社会や人々の福祉の向上に貢献することを看護福祉学部福祉マネジメント学科の教育理念とする。

## <看護福祉学部福祉マネジメント学科のディプロマ・ポリシー（DP）>

本学看護福祉学部福祉マネジメント学科卒業のために以下の要件を満たすことが求められる。

- DP1：人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。
- DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。
- DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。
- DP4：保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。
- DP5：多様な文化や価値観を尊重して地域社会に貢献できる能力を身につけている。

1年次	2年次	3年次	4年次	
医療概論〔2④〕	社会福祉原論Ⅰ〔3⑤〕 社会福祉原論Ⅱ〔3⑤〕 介護コミュニケーション論〔4〕			DP1
看護福祉学入門 ソーシャルワーク入門 臨床福祉学導入演習〔5〕 児童福祉論〔4〕 障害者福祉論 ソーシャルワーク論Ⅰ〔1⑤〕 ソーシャルワーク論Ⅱ〔1⑤〕 ソーシャルワーク演習Ⅰ〔3〕 介護概論Ⅰ〔1④〕 生活支援技術論Ⅰ〔1③④〕 介護過程論Ⅰ〔1③〕 介護総合演習Ⅰ〔1③④〕 介護実習Ⅰ〔1③④〕	社会保障論 公的扶助論 高齢者福祉論 認知症と生活支援〔1④〕 医学一般〔4〕 精神医学〔1③〕 精神保健学Ⅰ〔4〕 精神保健学Ⅱ〔4⑤〕 薬理学 障害基礎医学 認知症ケア論〔1④〕 ソーシャルワーク方法論Ⅰ〔1③〕 ソーシャルワーク方法論Ⅱ〔1③〕 精神障害リハビリテーション論〔3④〕 ソーシャルワーク演習Ⅱ〔3〕 ソーシャルワーク演習Ⅲ〔3〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔3〕 ソーシャルワーク実習Ⅰ〔3〕 介護概論Ⅱ〔1④〕 生活支援技術論Ⅱ〔1③④〕 生活支援技術論Ⅲ〔1③④〕 介護過程論Ⅱ〔1③〕 介護総合演習Ⅱ〔1③④〕 介護実習Ⅱ〔1③④〕	家族福祉論 保健医療福祉論〔4〕 スクールソーシャルワーク論〔1④〕 精神保健福祉制度論〔1③〕 民法 リハビリテーション論〔4〕 心身機能構造論〔1④〕 ソーシャルワーク方法論Ⅲ〔1④〕 ソーシャルワーク方法論Ⅳ〔1④〕 社会福祉調査法〔1③〕 ソーシャルワーク演習Ⅲ〔3〕 ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔3〕 ソーシャルワーク実習Ⅱ〔3〕 介護概論Ⅲ〔1④〕 生活支援技術論Ⅳ〔1③④〕 生活支援技術論Ⅴ〔1③④〕 医療的ケア〔1④〕 介護過程論Ⅲ〔1③〕 介護総合演習Ⅲ〔1③④〕 介護実習Ⅲ〔1③④〕 精神保健福祉の理論と方法Ⅰ〔1④〕 精神保健福祉の理論と方法Ⅱ〔1④〕 精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅰ〔1③④⑤〕 精神保健福祉ソーシャルワーク実習〔1③④⑤〕 精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅰ〔1③④⑤〕 社会福祉研究法〔3〕	福祉哲学と倫理〔1〕 行政法 医療ソーシャルワーク実践論〔4〕 権利擁護・成年後見制度論〔1③〕 司法福祉論〔1③〕 生活支援技術論Ⅵ〔1③④〕 実地研修Ⅰ〔1④〕 実地研修Ⅱ〔1④〕 実地研修Ⅲ〔1④〕 実地研修Ⅳ〔1④〕 実地研修Ⅴ〔1④〕 介護総合演習Ⅳ〔1③④〕 介護実習Ⅳ〔1③④〕 精神保健福祉ソーシャルワーク演習Ⅱ〔1③④⑤〕  家族療法〔3〕 クリニカルソーシャルワーク〔3〕 精神保健福祉ソーシャルワーク実習指導Ⅱ〔1③④⑤〕 ソーシャルワーク応用実習〔1③④⑤〕 ソーシャルワーク応用実習指導〔1③④⑤〕 臨床福祉総合講義〔3〕 現代社会論〔3⑤〕 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導〔1③④⑤〕 スクール(学校)ソーシャルワーク実習〔1③④⑤〕	
	社会心理学 精神保健福祉の原理Ⅰ〔5〕 アダプテッド・スポーツ演習〔5〕	精神保健福祉の原理Ⅱ〔5〕 プロジェクト演習Ⅰ〔4⑤〕	プロジェクト演習Ⅱ〔4⑤〕 プロジェクト研究〔1②④⑤〕	DP3
	地域福祉論Ⅰ〔2〕 地域福祉論Ⅱ〔2〕	社会福祉運営管理論〔3⑤〕 マーケティング論〔5〕 マネジメント論〔5〕 地域共生社会演習Ⅰ〔3〕	地域共生社会演習Ⅱ〔3〕 介護管理論〔1②③〕	DP4
福祉と当事者のリアルⅠ〔4〕	福祉と当事者のリアルⅡ〔4〕 コーピング論〔4〕		レクリエーションスポーツマネジメント〔4〕	DP5

## <ツリー表記について>

学生が科目修了時に達成できるDP1～DP5のうち、最も当てはまるDPの箇所を科目を記載し、次に当てはまるDPについてその番号〔①～⑤〕を科目名の後ろに〔〕で表記している。各授業科目の配色は次の分類を示している。

- 領域Ⅰ
- 領域Ⅱ
- 領域Ⅲ
- 領域Ⅳ
- スクールソーシャルワーク教育課程